

---

# 令和7年度 地域共生社会推進会議

## 「つながりや支え合いで孤独・孤立を防止する」 開催要綱

---

### 1 趣 旨

人口減少に伴う少子高齢化や高齢者世帯・単身者世帯の増加等が進行する中、地域住民一人ひとりが役割を持ちともに支え合うことで、地域コミュニティの再構築や活性化を図り、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の構築が求められています。本会議は、地域共生社会を実現するため、様々な立場の地域福祉関係者が集まり、県内の地域課題とともに学び合い、その解決策等について意見交換や情報交換を行うことを目的に開催します。

令和7年度は「孤独・孤立」をテーマとして、県内における実態や課題、その防止策等の取組みを共有するとともに、必要な支援やその方向性について、参加者を交えてより実践的に協議・検討を行い、人と人との多様なつながりや地域住民がともに支えあう大切さを見直し、地域共生社会の必要性を考える機会とします。

2 主 催 社会福祉法人山形県社会福祉協議会

3 日 時 令和8年2月27日（金）12:45～15:30

4 会 場 天童ホテル 2階 瑞祥の間 他

〒994-0025 山形県天童市鎌田本町2丁目1-3

TEL 023-654-5511 ／ FAX 023-654-5517

### 5 参加対象

市町村社会福祉協議会役職員、行政職員、民生委員・児童委員、社会福祉法人役職員、地域で福祉活動を実践している方等、社会福祉関係者や福祉に関心のある方 80名程度

6 参 加 費 無料

### 7 日 程

12:15 12:45 12:55 13:55 14:10 15:30

受付 2階 瑞祥の間前	開会	基調講演	休憩 移動	分科会1～3 (分科会ごとに分かれる)	閉会
----------------	----	------	----------	------------------------	----

## 8 内 容

全体テーマ「つながりや支え合いで孤独・孤立を防止する」

### (1) 基調講演 (12:55~13:55)

「地域共生社会で孤独・孤立を防止する～つながりや支え合いの大切さを見直そう～」(仮)

地域福祉の現状や課題、地域共生社会の必要性等について学ぶとともに、地域共生社会の実現のため、孤独・孤立に至らないため、どのような支援が必要とされているのか等、今後の支援の方向性を考えます。

講師： 国際医療福祉大学大学院

医療福祉学分野責任者 教授 小林 雅彦 氏

### (2) 分科会 (14:10~15:30) ※ホテル内移動あり

#### ① 分科会1 (パネルディスカッション)

テーマ「地域の中で居場所やつながりをつくり、孤独・孤立を防止する」

市社協が立ち上げ、地区社協や地域住民、小学校が連携して定着化している居場所づくりの取組みと、多世代の居場所づくりの取組みの事例をもとに、住民同士のつながりやたすけあいの大切さ、今後の必要な支援等について参加者の意見等もうかがいながら話し合いを行っていきます。

<コーディネーター> 国際医療福祉大学大学院

医療福祉学分野責任者 教授 小林 雅彦 氏

<パネリスト>

- ・ 寒河江市社会福祉協議会 主事 新田 ゆい 氏

誰もがふらっと立ち寄っておしゃべりを楽しむ場として小学校の空き教室を活用して実施している「みんなのよりどころ COCO&」の取組みを紹介していただきます。

- ・ 一般社団法人 mahaLim 代表理事 小川 真実 氏

子どもや妊産婦、引きこもり、高齢者等、様々な立場の方を対象に、自分らしく生きる地域社会を目指して活動している多世代型居場所「ごちやまぜハウス」の取組みについて、紹介していただきます。

#### ② 分科会2 (座談会)

テーマ「孤独・孤立になりがちな人々の実態を探り、必要な支援を考える」

山形県で実施した孤独・孤立に関する実態調査の結果と、重層的支援体制整備事業の多機関協働支援センターとして係わっているケース（複合的な課題を抱えるケース、制度の狭間に陥っているケース等）の事例により、孤独・孤立になりがちな人はどのような状況にあるのかを探り、今後必要になると思われる支援やその仕組み、方向性等について、参加者を交えて話し合いを行っていきます。

<コーディネーター> 東北文教大学 准教授 下村 美保 氏

<事例発表者>

- ・ 山形県健康福祉部地域福祉推進課 主査 小林 晃大 氏

令和7年度に実施した「山形県人々のつながりに関する基礎調査」の結果から見えてきたことの報告と県としての今後の取組みの検討状況について報告していただきます。

- ・ 天童市社会福祉協議会 主幹 相談支援係長

天童市多機関協働支援センター 包括化推進員 後藤 宏樹 氏

天童市多機関協働支援センターで係わっているケースはどういった課題を抱えており、どのような状況にある世帯なのか、その傾向等についての報告や、重層事業による支援の有効性等についてお話ししていただきます。

③ 分科会3（座談会）

テーマ「孤独・孤立を感じないように、子どもをきっかけとした多様なつながりをつくる」

子ども食堂を地域の中の多様な世代の交流拠点にして、地域の中に孤独・孤立を作らせない取組みと、ひとり親家庭等の子どもに物資等の直接的な支援を行い、その家庭が孤独・孤立に陥らないようにする取組みの事例をもとに、多様なつながりのそれぞれの役割や必要性等について、参加者を交えて話し合いを行っていきます。

<コーディネーター> 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ  
地域ネットワーク団体支援ディレクター  
組織開発ディレクター 渋谷 雅人 氏

<事例発表者>

- ・ 飯豊町企画課 まちづくり室長 横澤 剛 氏

「子どもからお年寄りまで多様な世代に地域の居場所をつくる」ことを目的として、地区まちづくりセンター等を拠点に地域住民が気軽に楽しく参加できる子ども食堂を運営する「子ども食堂から始める地域のウェルビーイング実現プロジェクト」の取組みについて紹介していただきます。

- ・ 最上町社会福祉協議会 事務局次長 阿部 竜也 氏

最上町社協が「はっぴープロジェクト」として実施している、ひとり親家庭等を対象に食品や日用品等を配付する子育て応援宅食サービス事業「はっぴーバスケット」と子どもたちの新たな居場所づくり事業「はっぴーケアップラザ」の取組みについて紹介していただきます。

## 9 申込方法

下記の参加申込フォーム URL (Google フォーム) からお申し込みください。

参加申込フォーム : << <https://forms.gle/jpK8Z5nWakbBcQkQ7> >>

右記の QR コードからもお申込みいただくことも可能です。

申込締切 令和 8 年 2 月 16 日（月）



※分科会については、参加申込み時、第 1 希望と第 2 希望までお伺いいたします。

※申込フォームによりお申込みができない場合は別添申込用紙に必要事項を記載し、本会まで FAX にてお申込みください。 (FAX : 023-626-1623)

※参加申込みにより作成した参加者名簿は、本会議を円滑に運営する目的で当日資料として配布いたします。

## 10 参加に係る留意点

### ・分科会について

参加申込み時、第 1 希望と第 2 希望までお伺いしますが、基本的には第 1 希望の分科会に御出席ください。

第 1 希望の分科会への申込みが多数の場合は、事前に変更をお願いする場合がございます。その場合は、個別に御連絡いたしますので、御協力をお願いいたします。

### 《申し込み・問い合わせ先》

社会福祉法人山形県社会福祉協議会 地域福祉部 地域共生推進係  
〒990-0021 山形市小白川町 2-3-31 (山形県総合社会福祉センター内)  
TEL : 023-622-5805 FAX : 023-626-1623

本事業は、山形県総合社会福祉基金（紅花ふれあい基金）の助成を受けて実施いたします。